

研究評価委員会分科会の各委員からの所見について(事前評価)

課題名「既存単独処理浄化槽の高度合併処理化による水環境保全技術に関する研究」

1. 主な所見

- ・所見 :
建築研究所としては珍しい研究テーマだが、社会的には非常に重要な問題であり、成果を期待している。
- ・所見 :
既存単独浄化槽の調査をどのようなレベルで行なうのかについてももう少し記述があると良い。
- ・所見 :
2年目から個々の実験に入られるようですが、もう少し具体的に説明していただきたい。
- ・所見 :
既存単独処理浄化槽の調査と関係するが、現状調査の手法によってはリソースが足りないのではないかと。
- ・所見 :
費用に関して十分に手当されていないが、今後の努力に期待したい。
- ・所見 :
省エネルギー性についても評価して頂きたい。
- ・所見 :
地味なテーマであるが、地域の衛生環境に影響するところ大である。しっかりした結果、実用につながる成果を出して欲しい
- ・所見 :
この研究成果がアジアや開発途上国に対しても有用であることを念頭に置いて実施されたい。
- ・所見 :
有意義な研究と考える。既存単独処理浄化槽の改修によりどの程度環境改善効果があるのか、地域毎、水域毎にわかりやすく示せると今後の対策の優先順位を考える上で参考となると思う。
- ・所見 :
大規模な設備に関して、土木分野における類似の研究があると思われる。密接な連携により効率的に研究を進めていただきたい。

2. 主な所見に対する回答

- ・所見 に対する回答 :
ご期待に添えるよう、努力します。
- ・所見 に対する回答 :
ご指摘を踏まえ、今回の研究で実施を予定している内容について、具体的に記述いたしました(既存単独処理浄化槽に流入する汚水の水量、排水パターン、水質に関する調査、生活雑排水の各要素毎の水量、排水パターン、水質に関する調査、 既存単独処理浄化槽の合併処理化における施工条件等に関する調査)。

・所見 に対する回答：

ご指摘を踏まえ、2年目に計画している実験の内容について、具体的に記述いたしました（低濃度排水の土壌による処理実験、高濃度排水の高度処理実験、需要制御型節水システムの受容性に関する実験）。

・所見 及び に対する回答：

建築研究所における予算獲得に関して一層努力すると共に、公益法人、民間企業との共同研究の実施、外部予算の獲得等により、研究の有効・効率的な実施を図りたいと考えております。

・所見 に対する回答：

省エネルギー性については、イニシャル、ランニング及びライフサイクルでの評価を行い、エネルギー消費量と水質汚濁負荷低減量を総合的に評価できる指標を設定したいと考えております。

・所見 に対する回答：

本研究においては、新たな汚水処理の枠組みを具体的に提示し、これが可能であることを実証することにより、民間企業による製品開発を助長することを目指しておりますので、ご指摘のとおり、しっかりした結果、実用につながる成果が得られるよう、検討を進めたいと考えております。なお、本研究の成果は、建築基準法令に基づく浄化槽の構造方法（昭和55年建設省告示第1292号）浄化槽の性能評価方法に反映することを想定しています。

・所見 に対する回答：

本研究成果の、アジアや開発途上国への適用可能性等についても、併せて検討することといたします。

・所見 に対する回答：

既存単独処理浄化槽の改善による地域・水域毎の環境改善効果とコストの関係を総合的に評価できるモデルを提案できるよう、検討する予定です。

・所見 に対する回答：

ご指摘のとおり、活用可能な土木分野等における研究事例については積極的に活用し、国土技術政策総合研究所、土木研究所、環境研究所等とも連携し、検討を進めたいと考えております。